

※内容が変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

◇学科特別企画タイトルの記載がない学科は、学科説明2回目または体験講座の延長を実施します。

体験講座 (13:45~14:25)		学科特別企画 (14:40~15:15)	
社会情報	<p>楽にうまくやるためのサイエンス ～オペレーションズ・リサーチで「バ」を極める～</p>	<p>変化が激しく不確か・複雑な今日、的確かつ迅速な判断や効率の良いリソースの活用が求められています。例えば、ひとりひとりの好み・価値観にあった商品・サービスや目的地までの最早・最短・最安な経路など、コスト「バ」・タイ「バ」への関心の高まりもその一端です。それに応える強力なツールのひとつ「オペレーションズ・リサーチ」について、身近な例を交えながらわかりやすく紹介します。</p>	<p>文芸文化学科とのコラボ企画！ <b>(12:50~13:25 開催)</b> このアニメ、どう読む？：序章 ～転生してもオタクだった私たち～</p>
幼児教育	<p>子どもの歌を理解して表現してみよう</p>		
児童教育	<p>私たちはどうやってことばが話せるようになったの？ ～応用言語学からみた言語習得の不思議～</p>		
心理	<p>心理学って何するの？</p>	<p>受講者の皆さんが小学校就学前に歌っていた歌が、どのようなルーツを持った歌であるかを概観します。それから、それらを実際に歌って表現します。</p>	<p>近すぎちゃって困るわ ～人との距離を測ってみよう～</p>
文芸文化	<p>美術館の展覧会を企画する ～見に行きたくなる展覧会づくり～</p>	<p>詩人の宮澤章二さんは「確かに〈こころ〉はだれにも見えないけれど〈こころづかい〉は見えるのだ」と言いました。確かに心理学の対象である「こころ」は直接見えません。けれども心理学には、心を見にいくための工夫があふれています。知覚心理学（錯視、錯聴、盲点）、発達心理学（利他行為）などの実例から、心理学が「どうやって心を見にいくのか」を実体験しましょう。進化の長い歴史を通じ、私達の身体に埋め込まれた「心の機能」を知れば、きっと人間のことを大切に思えるはずですよ。</p>	<p>社会情報デザイン学科とのコラボ企画！ <b>(12:50~13:25 開催)</b> このアニメ、どう読む？：序章 ～転生してもオタクだった私たち～</p>
健康栄養	<p>あなたのカラダ、酸素足りてる？ ～鉄と赤血球のはたらき～</p>	<p>美術展を開催するまでには、さまざまなプロセスがあります。展覧会の趣旨をかため、作品を選定し、ポスター・チラシで広報、カタログの製作、実際の陳列作業などなど……。現在国立西洋美術館で開催中の「北斎 富嶽三十六景」を監修している教員が、現場の「なか」をお話します。</p>	<p>簡単なのに本格派！麻婆豆腐と杏仁豆腐を作ろう</p>
食物栄養	<p>若い世代からの適塩生活！ 将来の自分に健康をプラスワン</p>	<p>あなたのカラダに酸素を届けてくれているのは「ヘモグロビン」です。ヘモグロビンは赤血球の中に存在し、食事から摂取する「鉄」を材料としています。この授業では、自分のヘモグロビン濃度を実際に測定しながら、酸素が全身に届くしくみと、鉄が果たす大切な役割を学びます。</p>	
食品開発	<p>食品開発と化学 ～セバレートティーを作ってみよう！～</p>	<p>現代の食生活において塩分の過剰摂取は様々な病気のリスクを高める要因とされています。若い世代からの適切な塩分管理と意識が大切です。自分でできる適塩の調理法や食べ方の工夫で、無理なく減塩できる方法を提案します。</p>	
人間福祉	<p>福祉ってなんだろう</p>	<p>物質が互いに混ざり合うことは、化学においても、日常生活においても、食品の開発においても大変重要な現象です。ところが、比重の違う2種類の溶液をゆっくり加えると、混ざらずに2層に分かれてしまいます。物質の溶解や比重、水溶液の性質について、セバレートティー作りを体験しながら学びましょう。</p>	<p>ゆるっとふくし “ここだけの話” 福祉の学び座談会</p>